

ゴールデンウィークはいかがでしたか？

5日間のゴールデンウィークはいかがだったでしょうか。

ゆっくりと近場やご家庭で過ごされた方、家族で遠出の旅に出かけられた方、実家のおじいさんおばあさんのところに帰省された方など、ご家庭によってそれぞれだと思います。

多くの子は、あわただしく緊張続きであった4月の学校生活からしばらくの間離れ、家庭でのんびりと過ごせたのではないのでしょうか。

毎年、年度当初の緊張感から解放される5月の連休のあとぐらいから、無気力になったりうつ的な気分に見舞われたりする子が出てきます。

学校では、メリハリのある規則正しい生活を送らせるとともに、目標に向かって学級全体で取り組む活動の充実に努めてまいります。ご家庭においても、お子さんの生活状況に気をかけていただきますようお願いいたします。



田植えの季節到来！ 用水路や川には近づかない！

ゴールデンウィーク前頃から、学校のまわりの田んぼでも代掻きや田植えが盛んに行われています。

5月に入って、気温も一気に上昇し、初夏を思わせるような陽気となってきました。子ども達も、水を求めて田んぼの用水路や川などに近づくことが予想されます。しかし、田んぼに入れるためには大量の水が必要なため、今の用水路には一年を通じて最も大量の水が流れ込んでおり、たいへん危険な状態となっています。絶対に近づかないようご家庭でもお話をお願いします。

また、十分な水分補給が必要な季節になってきましたので、水筒等の持参についてもよろしくお願いします。

暑さ対策その1 学校へのスポーツドリンクの持参

本校では、学校へのスポーツドリンク等の持参については認めておりません。

保護者の方から毎年「熱中症になる恐れがあるので、水分補給のために持参させてほしい。」との申し出が数件寄せられますので、改めて学校としての考え方と対応についてご説明させていただきます。

- ・ 持参した水筒のお茶をこまめに摂らせることにより、水分補給を行う。
- ・ 熱中症については、高温多湿の中での発生が多いことをふまえ、炎天下での長時間の活動時には十分配慮するとともに、教室内が高温多湿とならないよう換気に努める。
- ・ 熱中症の症状がみられた場合には、保健室等の涼しいところで体を冷やすとともに、学校備え付けの経口補水液やスポーツドリンクを飲ませる。

専門医の話によると、室内では水や麦茶で十分ですが、外出中や運動時には塩分を含む水やスポーツドリンク等が最適だそうです。

ところが、「ノーカロリー」の表示があるスポーツドリンク等についても、砂糖は使用されていないものの、多量の添加物を摂取してしまうことになるため、飲み過ぎには十分注意する必要があるとのこと。

のどが渇く前に定期的に水分を摂取することが何より大切であるとのこと。学校の水道水は飲料用にはお勧めできませんので、一日に必要な量の麦茶等を持参できるようご協力をよろしくお願いします。



暑さ対策その2 クールスカーフ（首巻用冷却材）の使用

熱中対策用のクールスカーフについては、次のことを条件に使用を許可しています。
ただし、体育の時間や休み時間等で運動や遊びをするときや活動中に引っかかる恐れがあり危険だと判断した場合には使用を控えさせていただくことがあります。

- ・ 学校での使用奨励ではなく、あくまでも使用については保護者判断とする。
- ・ 水で濡らして冷やすものに限る。
- ・ 学校でのクールスカーフの管理については、児童本人が行う。
- ・ クールスカーフを引っ張るなどの行為は絶対にしない。また、ひもは襟内に入れる。
- ・ 授業や学校生活の妨げとなるような使用をしている場合には、持参を許可しない場合もある。

家庭訪問、よろしくお願いします。

11日（月）より学級担任が各家庭を回らせていただきます。

たいへん短い時間ですので、保護者の方からお子さんの家庭での様子をお聞かさせていただいたり、学校のことでのご質問やご意見にお答えさせていただいたりすることが中心となると思います。

できるだけ計画した時間に訪問できるよう努めますので、ご協力よろしくお願いします。



学校ホームページが新しくなりました。

本校では、学校や子ども達のようにすを知っていただくことによって、学校教育活動に対するご理解をより深めていただくことを目的として、学校ホームページを公開しています。

検索サイトで「羽津北小学校」と入力すれば、簡単に開くことができます。

年度初めで、更新作業もほぼ完了しており、先日実施した遠足のようすや子どもたちが毎日食べている給食メニューなども閲覧可能です。ぜひ一度ご覧になってみてください。

